

認知症サポーター新聞

Dカフェとは

Dは英語で、「認知症」を意味する「dementia」の頭文字です。認知症の人やその家族、支援者、地域住民が気軽に集まり、交流や情報交換を行う場です。

東京都町田市で行われている取り組みをご紹介します。町田市長 石坂丈一氏によると、カフェ開催のきっかけは、スターバックスコーヒー町田金森店の林健二店長から「地域貢献事業の一環として、市内のスターバックスコーヒーで月に一回程度認知症カフェを開催したい」とお申し出を頂いたことでした。認知症について、多くの方に「特別な場所」から「日

常の場所」として感心を持ってほしいという思いから開催に至ったそうです。



（町田市ホームページ引用）

町田市内には、NPO法人や社会福祉法人が主催するDカフェが26カ所あり、認知症をテーマに地域の暮らしについて多面的に語り合うことを目的としています。地域の人々が優しく暮らしやすい街を作る話し

合いの場でもあります。

このような活動を秋田市でも行えないかと、スターバックス秋田保戸野学園通り店と相談し、令和6年11月から毎月第3木曜日 10時をベースに開催しています。



家族や、支援者が参加できる場所であり、認知症であってもなくてもスターバックスの空間の中で、雰囲気や空間を楽しんでいただけたらと思っています。また、介護保険の相談等も行っています。参加者同士の横の広

【発行】

泉地域包括
支援センター
リンデンハウム
TEL 896-5960
FAX 864-3006

がりもできていけたらいいなと思っています。スターバックスには高齢の方の利用も多いとの事で一緒に会話を楽しむことができれば幸いです。

防犯意識を高めましょう！

令和7年8月13日、秋田中央警察署と連携し、イオン秋田中央店で、防犯や詐欺被害への注意喚起、地域包括支援センターのチラシ配布をしてきました。

地道に活動をしていきたいと思えます。



中央圏域地域包括支援センター（八橋、川元、中通、泉）社会福祉士・認知症地域推進員、秋田中央警察署の皆さん

